

南中だより

学校通信 第3号
令和6年7月19日

校訓：「自己を高めよう」

本校のめざす生徒像

「将来を見据え、今の自分を作り上げていく生徒」

1. 真剣に学び合う生徒
2. けじめのある行動をする生徒
3. 自ら心と体を鍛える生徒

明日からいよいよ夏休みが始まります。4月の入学式、始業式から4か月近くが過ぎました。この間さまざまな行事、活動がありましたが、順調に実施することができました。本校の教育活動にご理解、ご協力いただきました保護者の皆様にお礼申し上げます。

◇「学び続ける南中生」

高浜市では、小中学校に勤務する全ての教員が年1回、校内外の教員に授業を公開しています。南中学校でも夏休みまでの間に多くの教員が授業を公開しました。各教員の工夫を凝らした授業のなかで、真剣に、前向きに、ときには楽しく取り組む南中生の姿が数多く見られました。

本年度、南中学校では1時間の授業を通じて生徒が自分の考えを見直し、新たな考えを持つための授業の在り方について研究を進めています。教員と生徒が一体となって、「学び続ける南中生」の姿を追い求めています。



1年生美術 池谷先生

キャラクターの特徴にふさわしい色を考えることを通して、色彩の効果についての理解を深めました。

キャラクターを彩色するときは、タブレット上でソフトを使って行いました。同じ特徴でもふさわしいと感じる色には人により違いがあることに気づきました。



2年生体育 小長谷先生

跳び箱で回転系の技の上達を目指しました。同じ課題を持つ生徒同士がグループになり、タブレットで演技を撮影したり、アドバイスを送り合ったりしました。撮影した映像を見合うことで、より具体的に改善点を話し合うことができました。



3年生社会 木股先生

新デザインのお札が発行日、次のデザイン変更では誰が肖像にふさわしいか考えました。経済、外交、文化などの分野での現在の業績が、未来の社会でどう評価されるかを想定しながら選考を進めました。

生徒にタブレット端末が貸与されてから5年近くが経とうとしています。在校生はみんな小学校時代からタブレットを使った授業を経験してきました。操作にも習熟し、さまざまな機能を使いこなしています。

多くの授業でタブレット端末が、考えを深めたり、意見を交流したりするための有効なアイテムになっていました。

コロナ禍の前と比べると、授業の風景は一変しましたが、学び続けることの価値や大切さをつかみ取ってほしいという思いは変わりません。この思いを大切に、9月からも授業公開は続きます。

修学旅行をはじめとする諸行事や活動の様子につきましては、先日発行されたPTA新聞「南風」に記載されています。ぜひご覧になってください。